

宮津わかもの宣言

～わかもの約30人による宮津の30の未来～



第1回 宮津わかもの会議 参加者一同
平成30年12月26日

宮津わかもの会議

平成生まれの30歳以下の30名による
『宮津の30の未来』を考える会議

2018/12/26 (水) 受付8:30~

宮津市福祉・教育総合プラザ
宮津シーサイドマートミッブル
3階 第1コミュニテイルーム

第1部 9:00~12:10 第2部 13:30~17:00

講演会 「宮津の未来」を

～地域活性化の取組～ 考えるワークショップ

※第1部・第2部ともに見学も可能です

申し込み方法
Googleフォームより
<http://u0u0.net/NAU9>



主催 「宮津わかもの会議」実行委員会
共催 福知山公立大学
(北近畿地域連携センター・実践教育専門委員会)
宮津市
協力 特定非営利活動法人TEAM旦波

締め切り 12月21日(金)

詳しくは、こちらから

Twitter▶@miyazu_wakamono Facebook▶宮津わかもの会議
☎▶0773-24-7151 ✉▶miyazu.wakamono@gmail.com

～会場にお越しの際には、ぜひ京都丹後鉄道をご利用ください～

宮津わかもの会議って・・・??

宮津わかもの会議は、「若者目線から宮津市の未来について語り合い、未来を実現するための行動を宣言し、行動へとつなげる」ことを目的に、福知山公立大学の学生が主体となり実行委員会を立ち上げたものです。今回、第1回宮津わかもの会議の開催にあたり、宮津市の未来について共に考え、行動する仲間を募集しています。

タイムスケジュール

8:30~	受付
9:00~9:30	開会 挨拶・概要
9:30~9:40	アイスブレイク
9:40~12:10	講演会
12:10~13:30	昼食
13:30~15:30	グループワーク
15:30~16:00	まとめ
16:00~16:40	発表
16:40~17:00	閉会 講評・挨拶



Mおいしいグルメ開発
研究所 所長
料理研究家 小松美香氏

宮津にて4年半、レストラン「mogmog」のオーナーシェフを勤める。宮津在住中、地域の魅力発信イベント「みやさんば」「ココ丹後」も実行委員を務め、宮津市の給食監修、地元農家や味噌屋とのコラボ企画など、食を通じて食文化、歴史や食材にスポットをあてる。2018年、故郷舞鶴に帰り、レストラン「もぐもぐ」をオープン。宮津の総合福祉施設「マ・ルート」内のカフェ「TEO-TORI」、京丹後フルートトレイル、久美浜駅のカフェのメニュー監修を行う。

平成8年生まれ。京都府与謝野町出身。高校生の時から「地域活性化」に興味を持ち、大学入学後、ふるさと京都府丹後地域でインターン事業に従事する。現在は、都市部の人材と地域企業の複業マッチング事業を立ち上げ、人々と地域に新たな可能性と選択肢を創ることに注力している。



特定非営利活動法人
チーム旦波
理事/関西学院大学法学部
4年 濱田祐太氏

☆参加者受付中☆

参加方法

- ①1部(午前)のみ参加
- ②2部(午後)のみ参加
- ③1部、2部ともに(終日)参加
→3つから選択

締め切り 12月19日(水)

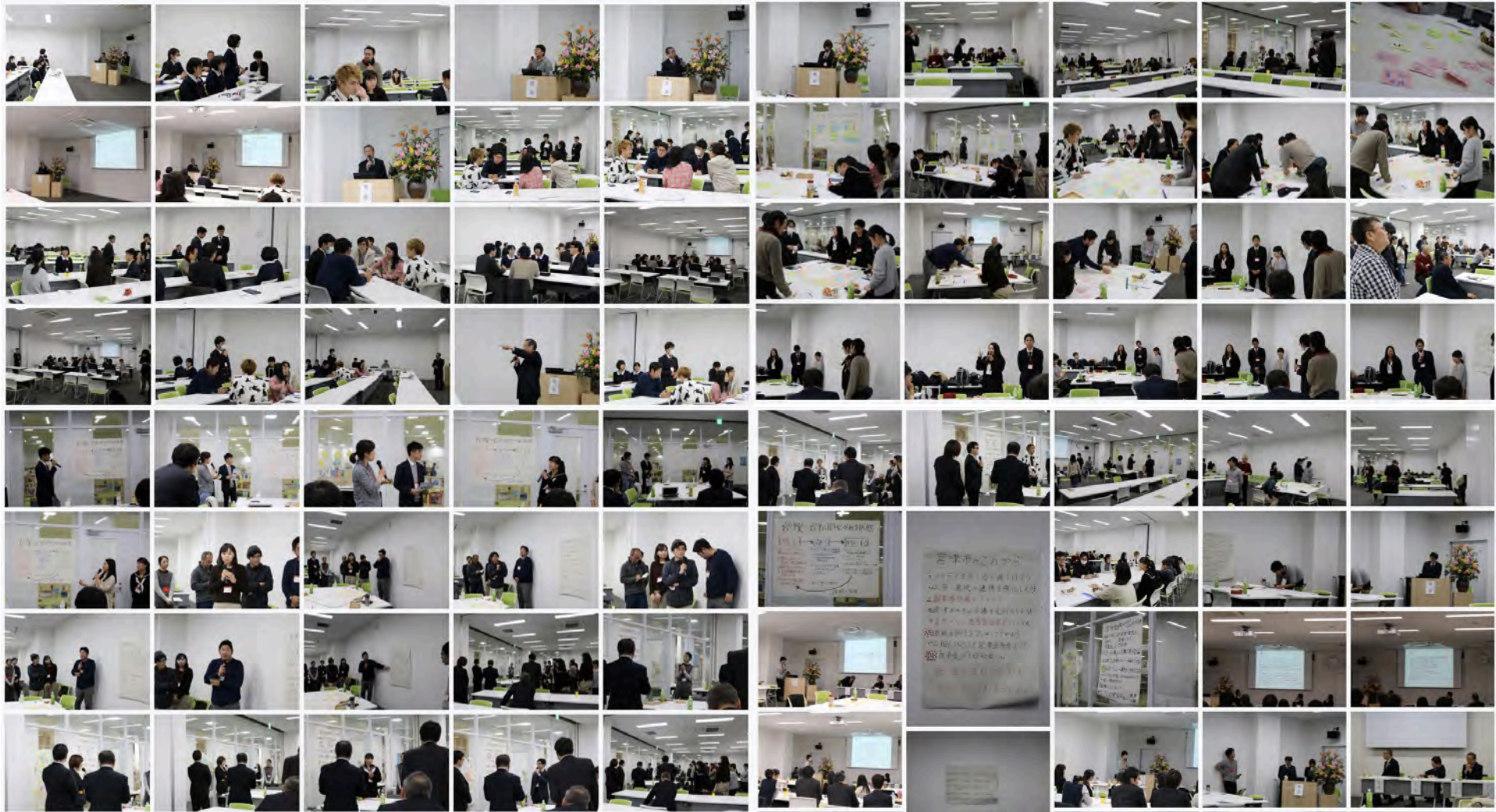
申し込み方法
Googleフォームより
<http://u0u0.net/NAU9>



上宮津地域会議
代表 八尋慈教氏

昭和25年生まれ。宮津高校を卒業後、京都市内で就職。造園業・花屋での勤務や教念寺の住職などを経験。昭和55年、堀川オート工業株式会社に勤務。平成13年、同社の社長に就任し、平成28年退社。平成15年4月からの7年間、上宮津21夢会議の代表を務める。平成29年4月から、上宮津地域会議の会長、上宮津自治連合会の会長を務めており、大学などの連携による知恵と人材確保、様々な取組の事業化に力を入れている。

☎▶0773-24-7151 ✉▶miyazu.wakamono@gmail.com
Twitter▶@miyazu_wakamono Facebook▶宮津わかもの会議



【基本スキーム】

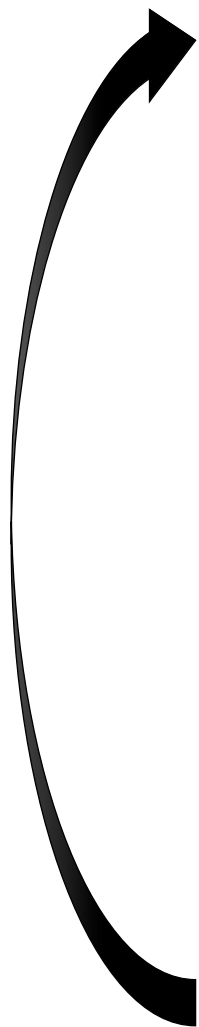
想う



語う



形にする



想う

- ①町中をフィールドワークをする機会を作る。
- ②1日市長 / 1日社長を通じて町を知る機会を作る。
- ③宮津でとなりの“人間国宝”をして、魅力的な地域住民の可視化を行う。
- ④宮津人々MAPを作り、魅力的な地域住民の可視化を行う。
- ⑤公共施設の“使い方マニュアル”を作ることで、住民が地域に関わる機会を作る。
- ⑥“新宮津検定”を行うことで、地域のことを知ってもらう。
- ⑦アンケート調査を通じて、宮津を客観的に見る機会を作る。
- ⑧若者が立ち寄るMAP作ることで、若者が地域に触れる機会をつくる。
- ⑨宮津のAtoZを考える機会をつくることで、宮津の魅力を再認識する。
- ⑩思い出集め。突撃隣のオジイ、オバアを実施することで、昔の宮津の良さを若い世代に伝える。

語る

- ⑪ワーホリの交換留学生などと議論をする機会を作る。
- ⑫わかもの×「地域自治会」会議を行う。
- ⑬わかもの×「他の学校の生徒」会議を行う。
- ⑭わかもの×「市長・市役所」会議を行う。
- ⑮わかもの×「社長・企業」会議を行う。
- ⑯わかもの会議を定例化する。
- ⑰ネット上でわかもの会議を開催する。
- ⑱高校生同士をマッチングし議論を促進する。
- ⑲大学/高校の対話のための連携を強化する。
- ⑳わかものによるまちづくりのためのチーム（まちづくり若者自治連）を作る。

形にする

- ②1海ゴミアートをして、楽しみながら地域課題を解決する。
- ②2宮津のカレー焼きなどのレシピを作り、復活させる。
- ②3高校生などによるダンス等の発表会を行う。
- ②4蔵ネタリウム等の魅力的な場所を宮津に作る。
- ②5空き家のリノベーションを行う。
- ②6わかもの応援基金を作る。
- ②7わかものを応援するための応援団を作る。
- ②8わかものを応援するための講座を行う。
- ②9写真スポット探しを行い、待ちの魅力を可視化する。
- ③0各種MAPを作ることで、魅力を可視化する。

第2回 宮津わかもの会議に向け

思い、語りを形に。

ご静聴ありがとうございました。